

# 滋賀ブロック協議会 2020年度

## J C連携推進委員会 基本方針

委員長 渡壁 佑樹

私たちは県内11LOMが一丸となることで組織として地域を先導してまいりました。しかし、社会情勢が目まぐるしく変わり、国の転換期を迎えるなか、県民の主体者意識は希薄化しています。県民一人ひとりが主体者としての自覚をもつために、常に地域を先導してきた私たちがリーダーシップをとり、社会を変革できる意識を醸成する必要があります。

まずは、滋賀ブロック協議会や県内11LOMの運動を円滑に推進していくために、出向いただくメンバーを中心にLOM間での連携を密接に行い、強固な組織を構築していきます。そして、県内11LOMの会員数を増やすために、各地での会員拡大成功事例を県内11LOMで共有することで、会員拡大の意識高揚につなげます。また、子供たちには生きる力を育成するために「J CカップU-11少年少女サッカー滋賀ブロック予選大会」を実施し、スポーツの大会を通して、目的を持って行動することが重要であることを感じてもらいます。さらに、選挙においては立候補者の政策や考え方を有権者が理解し選挙への積極的参加を促すために、公開討論会などの政策や考え方を広く知らしめる事業への支援を実施することで県民の政治への関心を高めます。また、災害などの有事の事態を県民が常に意識できるように、安全保障に対する意識調査を行います。そして、県民が安心してその地域で生活できるための議論をする場を設けることで、これからも安心して生活を続けられる意識を啓発します。さらに、実際の有事の際には迅速な対応をするために、日々の活動のなかで築いた強固な関係をもとに、災害ネットワークを構築することで、被害拡大の軽減に努めます。

子供たちは、積極的に物事に取り組むことで主体性をもち、多くの人と対話できる人材になります。そして、県民一人ひとりに政治や安全保障に対して関心をもっていただくことで、未来を変革できる一員として主体者意識が醸成され、発展と繁栄が続き「全ての人がびとが笑顔で生きがいを持てる滋賀」を実現します。

### 〈事業計画〉

1. J CカップU-11少年少女サッカー滋賀ブロック予選大会の開催
2. 選挙における各種討論会の支援
3. 多面的な安全保障に関する国民的議論を巻き起こす事業の実施
4. ブロック協議会諸会議の設営指揮
5. 会員拡大の支援
6. 災害ネットワークの構築